

農道整備事業の着工は 用地買収に着手

G議員 黒鳥、小平方、金巻地区農道整備事業について ①農道整備事業の着工、構造、期間、町のかかりについて
河内町長 ①西蒲原土地改良区が事業主体となり、平成8年度に県の事業認可を受け、実施設計、一部用地買収に着手している。構造は全体幅員10・4m、道路舗装幅員5m、用水フリュームの施行を計画している。期間は平成8年度から平成11年度の継続事業として供用開始を目指しており、町として国・県補助金を除いた事業費の37・5%を負担する。

須上線の町の考えは

将来の黒崎縦貫道路

G議員 金巻須上線道路整備について ①須上線道路整備の着工、構造、完成期間、町の考え方について
河内町長 ①平成8年度から事業着手しているが、用地買収を先行しその後着工を行う。構造は現在行っている排水路改修計画の上に自転車歩行者道を整備

公約と施政方針の関連は 住みよき活力ある町づくり

は、第4次総合計画を視野に入
れ十分検討したい。

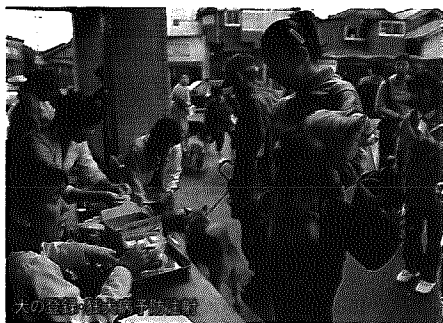
1議員 今回実施の町長選挙における公約について ①施政方針との関連について ②教育、文化、スポーツ活動の振興について ③福祉行政の充実について ④新潟市との合併について ⑤生活環境の整備について ⑥農・商・工業の振興について
河内町長 ①施政方針でも述べたとおり公約として「教育・文化・スポーツ活動の振興」、「福祉行政の充実」、「新潟市との合併」、「生活環境の整備」、「農・商・工業の振興」を訴えてきた。これは、住みよき活力のある町づくりを推進するためである。2月13日に就任し、第4次総合計画を検討したところ、私の訴えが、この町づくり施策大綱ののっとり、具体的な政策を展開することが、「住みよき活力ある町づくり」に繋がることと信じ、決意した。②第2中学校建設は、ときめきタウンを中心に人口の増加と子供の推移を考えたが検討したい。義務教育施設の整備は、第4次総合計画の内容に添って整備充実に努めたい。/イジメ、不登校の

する。標準断面は車道8・5m、自転車歩行者道10mの合計18・5mの幅員を計画している。完成期間は補助と起債事業で計画しているが、国の財政状況が厳しいことからめどは立っていない。町としては排水路の環境整備と総合体育館、保健センター、黒崎中学校、黒崎高校もあるの、通学路としての自転車道、歩行者道や車道については将来の黒崎縦貫道路として位置づけを考えている。

町の排水計画は 56ヘクタール

G議員 金巻須上線排水路改修事業について ①排水路改修事業の着工、構造、完成期間、町の排水計画について
河内町長 ①平成8年度に県の事業認可を受け、実施設計、工事着手している。構造は当地区の地盤が軟弱なためFRP管内径1100mmを使用し、暗渠排水管内径250mm、マンホール

の設置も合わせて施行している。完成期間は平成8年度から平成10年度の継続事業としている。排水計画は当該事業流域56ヘクタールの農地、宅地の排水処理を行う。



土改事業の土地有効利用は 生活環境整備に

G議員 西蒲土地改良区の事業について ①土地の有効活用、町のかかり方について
河内町長 ①水路整備等により余地の生じた国有地については、関係機関と協議の上、道路や歩道などの生活環境整備に有効活用できるものは、検討したい。

スポーツ公園設置は 答申を含め検討中

H議員 スポーツ公園の設置に

中で計画し、公園緑地も推進したい。/黒崎南インター(仮称)建設推進は、関係機関と協議を行い、実現に向け努力したい。/場外舟券売場設置問題は町民の意向を考慮して再検討するは、調査し、再検討したい。⑥平成11年度供用開始を目指して、黒鳥、小平方、金巻地区の農道整備事業の推進は、平成11年度供用開始を目指して事業推進に努力したい。/農産物、花卉、球根、園芸の振興は、都市近郊型農業の展開を図りたい。/土地改良事業の地元負担の助成は、今後とも負担を行いたい。/金巻、須上線沿い排水路改修事業推進は、平成10年度完成を目指し事業推進したい。/商工会育成補助及び商工会館建設費の助成は、補助は今後も継続し、助成は県補助と同額の助成を行いたい。/近代化資金、産業育成資金などの利子補給は、近代化資金は今後も継続し、産業育成資金は検討したい。

ファミリー動物園とは

動物愛護の精神

J議員 選挙公約について ①教育、文化、スポーツ活動の振興の中で、「幼児教育のためのファミリー動物園の設置を検討」とあるが、どのように検討

について ①スポーツ公園設置を公約に掲げられたが、具体的な方策を教えてください
河内町長 ①平成8年2月に教育委員会が、町スポーツ振興審議会から「総合スポーツ施設等の整備について」の答申を得ている。スポーツ公園建設は、公約と答申内容を含め検討中である。

公園緑地の整備は 実現に向け努力

H議員 公園緑地の整備について ①第4次総合計画の基本目標に則り、平成8年度は木場城公園を設置した。平成9年度は新規事業として特別な公園緑地の整備を行う公約だと思いが、基本的な考え方を示していただきたい。
河内町長 ①週休二日制の普及により余暇時間を利用し家族とのコミュニケーション等からも公園緑地の整備は必要と考え、第4次総合計画の中では、スポーツ公園構想や街区公園の整備が計画されており、実現に向け努力したい。緑地は、公園との一体整備や、それぞれの管理者と協議をし河川敷・公共空き地を利用し整備に努めたい。

生徒数と第2中の関係は
ときめきなどの推移をみて
H議員 第2中学校建設について ①今後の町内の生徒数の増減と第2中学校の整合性について
河内町長 ①今後の町内の生徒数の増減は、現在の小学校の児童数などからすると減少傾向にあるが、ときめき町内を含め、今後の生徒数の推移をみながら第2中学校を検討したい。

文化史料館建設とは

常民文化史料館の全面改築

H議員 緒立遺跡の文化史料館建設について ①選挙時の会報で発表された文化史料館を建設するとの案が、具体的な位置と年度について
河内町長 ①緒立遺跡の文化史料館建設とは、緒立地内にある常民文化史料館(旧武田家)の全面改築のことで、近年、その傷みが非常に著しく早急な修理が必要と考え、今後の保存、活用を考えた。位置については、現在地で隣接している緒立遺跡を含めた史跡ゾーンとしての活用を考えている。計画年度

されているのか ②福祉行政の充実の中で、「保健センターのゲートボール場に、風雨雪防止施設設置」とあるが、この広場について、どのような認識をもっているのか ③生活環境整備の中で、「緒立温泉開発の推進」とあるが、いったいかなるものか ④町長のスローガン「町民参加で進めるガラス張りの町政へ、よみがえれ黒崎」とあるが、町民参加、ガラス張りとは具体的にどういうことか。
河内町長 ①子供教育の上で、動物愛護の精神、動物の生きざまを鑑賞することは有意義と考える。新潟市では小動物愛護センターという陳情もあり、広域的な行政の中で動物園の設置を考えた。②「健康づくり広場」を町長就任まで、屋根付きのゲートボール専用場と認識していた。③環境の整備や温泉資源の活用が出来ないかを検討していた。④町民に町政をよく理解していただくための情報が十分提供されること、つまり情報公開制度の制定や町政懇談会の開催を行いたい。

ホスピタルパークの建設は 政策上、最も必要度が高い

K議員 選挙公約について ①教育、文化、スポーツ活動の振興について ②福祉行政の充実について ③生活環境の整備について ④農・商・工業の振興について ⑤新潟市との合併について
河内町長 ①第2中学校建設の検討とは、人口増加に伴う推移を見逃してはいけないという考え。/イジメ、不登校の克服に努力を尽くすは、ふれあい教育センターやカウンセラーの活用で努力を行きたい。②ホスピタルパークの建設は、私の政策で最も必要度が高いので、当町での施設建設を検討を進めたい。/老朽化した保育所の改築は、検討と示しているが、乳幼児期における保育は大切な事だと考えている。/女性の登用と見などが行政に提言されることを期待している。/町民参加で進めるガラス張り町政とは、政治施策の中で一貫して貫かねばならない信条である。③信濃川及び中之口川流域の河川改修の推進は、地域の理解と協力を得て、積極的に県へ推進要望を行いたい。/場外舟券売場設置問題は、経緯や環境の変化もあることから再度検討したい。④農業の振興は、皆さんと考えながらコメ作り、プラスチックを行政として関わりながら行いたい。/商工会館の建設等は、助成、補助を継続したい。⑤住民の理解と合意形成を図り、慎重に進めたい。